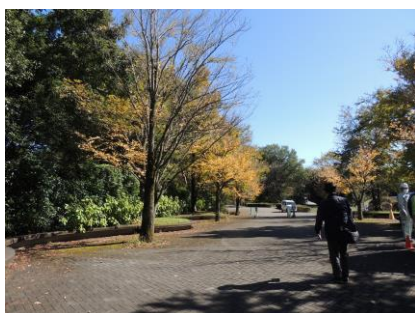


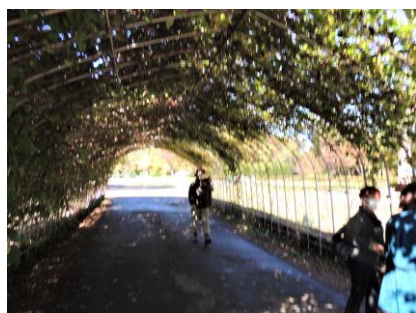
森林公園

10月26日（火） 晴れ

- ★ 前夜遅くから雨が降り出した。天気予報では災害級の雨が降る可能性があり、翌朝まで降り続くが天気は急速に回復するという。問題は雨が上がるタイミングで、9時前に上がるならば決行だが、午前中降り続くならば順延としなければならない。7時前に起きて外を見たら小雨は降っているが、雨雲レーダーの画像を見ると間もなく上がると思われたので、会員に「本日決行」のメールを送った。9時半に集合場所の田無駅に着いたときには薄日が差してきた。
- ★ 9時36分田無駅発、所沢で池袋線族が合流して本川越駅着10時13分。10分ほど歩いて東武東上線の川越市駅10時29分発の電車に乗り、森林公園駅には10時48分に到着した。駅前からバスに乗り10分ほどで森林公園西口に到着した。田無駅を出発してから約1時間半、散策の会としては久しぶりの遠出である。
- ★ 西口から入り、黄葉の始まった木々の立ち並ぶ道を進み、グリーントネルを抜けると広い草原に出た。しかし原っぱの先に続く道がない。バーベキュー広場の付近をうろうろしたが結局道が見つからず元の西口広場に戻って、係員に正式の園路を教えてもらった。



黄葉の始まった園内



グリーントネル



木漏れ日の散策路

- ★ 園内には要所々に番号が付けられていて、園内マップを見ながら歩くと自分の現在地が分かるようになっている。西口は26番で、東へ進んで17番で右へ進むと間もなく溪流広場（20番）の分かれ道である。正午を大分過ぎて腹も減ってきたので、真っ直ぐ進んで中央レストラン（18番）で食事をすることにした。

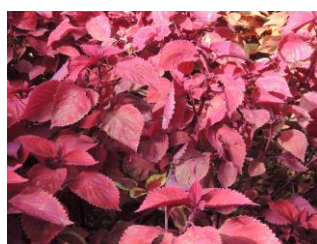
□

- ★ レストランを出て更に先に進み、中央橋（24番）を渡ってしばらく行くと谷へ向かってゆく細い道ある。この道を下って後谷沼を過ぎると道は登り坂となる。この坂を登り切ると眼前に薄いピンク色の原っぱが見えてきた。赤ソバの畑である。赤ソバは高嶺ルビーと呼ばれる赤い



花をつけるソバの品種である。運動広場花畑いっぱい（8500㎡）に広がる光景は見事である。

- ★ 赤ソバの花畑から溪流広場へ戻り、右へしばらく歩くと左の丘の斜面一面に色とりどりのコリウスが植えられた花畑である。その艶やかさに一同感嘆しきりであった。



- ★ 広い公園のごく一部を歩いただけだが、15000歩近く歩いて疲れたので14時39分発のバスに乗車して帰途に着いた。川越市駅に着いたのは15時30分頃であった。

最近ではコロナ感染者数が急激に減少し酒類提供の制限もなくなったので、久しぶりに本川越駅近くの居酒屋で反省会を行った。9名が参加したが、居酒屋のお兄さんも『9人もの団体さんは1年半ぶりだ!!』と言って喜んでくれた。ビール、酎ハイ、水割りなら99円で飲み放題という超大出血サービス。新聞記者魂を呼び覚まされたN氏は「この値段でどうやって利益を出しているのだろう」としきりに考えていたが、我々はそんなことはお構いなしに気合を入れて飲み、しゃべること2時間半。楽しい一日であった。



今回は俳人の参加が少なく、水野さん一人でした。

陽を浴びて 一面赤く 蕎麦の花

秋の日や 森林浴の 心地よき 水野 博司

写真と文 小島恕雄

参加者 古賀良郎、小島恕雄夫妻、滑志田隆、原田一彦、牧野昭夫、
水野 聰夫妻、水野博司、臼井静江、中村仁美 以上 11名